

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-080102

(43)Date of publication of application : 18.03.2003

(51)Int.Cl. B02C 18/42

B02C 13/16

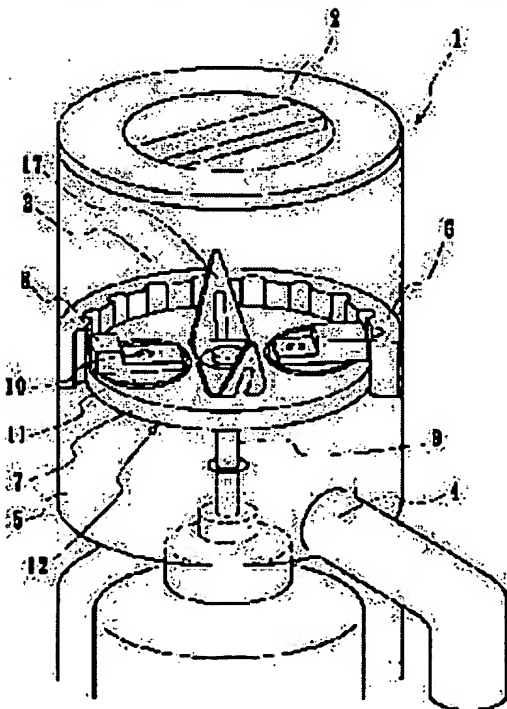
B02C 13/28

B02C 18/18

(21)Application number : 2001-279086 (71)Applicant : TERAL KYOKUTO INC

(22)Date of filing : 14.09.2001 (72)Inventor : FUJII TAKEO  
SASAKI YASUHIRO

## (54) ROTARY BLADE OF DISPOSER



### (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent garbage from being caught in a space between a rotating table and a hammer block in a disposer which is a type where the hammer block is rotated on the rotating table.

SOLUTION: In the disposer 1, the rotating table 7 and the hammer block 8 rotatably attached onto the rotating table 7 are disposed in a casing 5, and the rotating table 7 is rotated by a drive unit disposed under the casing 5 to rotate the hammer block 8 on the rotating table 7 for crushing the garbage. A small disc 11 is rotatably attached onto the rotating table 7, and a rotary blade 12 composed by integrating a part of the small disc 11 with the hammer block 8 is installed in the disposer 1.

## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

BEST AVAILABLE COPY

from KNJ-229A

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

**BEST AVAILABLE COPY**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開

特開2003-84

(P2003-80)

(43) 公開日 平成15年3月18日

(51) Int.Cl.	識別記号	F I	ターミナル
B 0 2 C	18/42	B 0 2 C	18/42
	13/16		13/16
	13/28		13/28
	18/18		18/18
			A
			Z

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L

(21) 出願番号 特願2001-279086(P2001-279086)

(22) 出願日 平成13年9月14日(2001.9.14)

(71) 出願人 000133039

株式会社テラルキョクトウ

広島県福山市御幸町大字森脇

(72) 発明者 藤井 武夫

広島県福山市御幸町大字森脇

株式会社テラルキョクトウ内

(72) 発明者 笹木 泰宏

広島県福山市御幸町大字森脇

株式会社テラルキョクトウ内

(74) 代理人 100072051

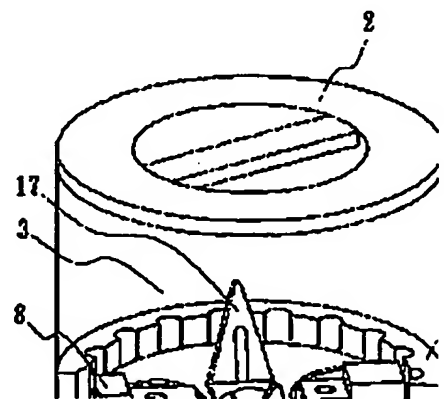
弁理士 杉村 興作 (外2)

(54) 【発明の名称】 ディスポーザの回転刃

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 回転板上でハンマーブロックを回転させる形式のディスポーザにおいて、回転板とハンマーブロックの隙間に生ゴミが挟まるのを防止する。

【解決手段】 ケーシング5内に、回転板7と、その回転板7上に回転可能に取り付けられたハンマーブロック8とが配置され、前記回転板7はケーシング5の下部に設置した駆動装置により回転され、それに伴い回転板7上のハンマーブロック8が回転して生ゴミの破碎を行うディスポーザ1において、回転板7に小円板11を自



(2)

特開2003

1

2

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 上部に生ゴミ投入口及び生ごみ破砕部を有し、下部に吐出口を有するケーシング内に、固定刃と、該固定刃の内側で回転するようにした回転板と、該回転板上に自転可能に取りつけられたハンマブロックとが配置され、前記回転板はケーシングの下部に設置した駆動装置により回転され、回転板の回転に伴い回転板上のハンマブロックが自転して生ゴミの破砕を行うディスポーザにおいて、回転板上に、ハンマブロックと一体化した小円板を自転可能に取付けたことを特徴とするディスポーザの回転刃。

【請求項2】 前記小円板は、その表面が前記回転板の表面と略同一平面を形成するように、回転板内に設けた円孔内に配置され、該円孔に設けた駆軸の周りを自転するようにした、請求項1に記載のディスポーザ。

【請求項3】 回転板の中心部に、適宜形状の切削刃を固定し、回転板と共に回転させるようにした、請求項1又は2に記載のディスポーザ。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、厨房の流し台に設置する、生ゴミ破砕用ディスポーザの回転刃に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、厨房の流し台に設置する生ゴミ破砕用ディスポーザは、容器状の生ゴミ破砕部内に、固定刃と、この固定刃の内側で回転するようにした回転板とこの回転板上で自転する複数のハンマブロックを配置した回転刃とを設け、ディスポーザ下部に配置した駆動装置により回転板を回転させるとともに、回転板の回転に伴ってハンマブロックが回転板の上で自転しながら生ゴミ破砕部内の生ゴミを破砕し、回転刃と固定刃の間で生ゴミを更に破砕して、このようにして細かくされた生ゴミを、排出部から排出するようにしている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】このように回転板上でハンマブロックを回転させる形式のものは、単に回転刃を設けたものに比べて生ゴミの破砕力が大きい反面、回転板とハンマブロックとの間の隙間に生ゴミが挟まりハンマが自転できなくなって、そのロック状態の

は、上部に生ゴミ投入口及び生ごみ破砕部に吐出口を有することを特徴とする。

【0005】小円板は、回転板上に複設可能に取付けられているが、小円板の板の表面と略同一平面を形成するように、回転板に設けた円孔内に配置して、円孔に設けられた駆軸の周りを自転させるようにすれば、小円板と回転板との隙間をより小さくして、その結果生ゴミの破砕をより小さくすることができる。

10 【0006】回転板上でハンマブロック以外の領域、例えば回転板の中心部に、固定刃を固定し、回転板と共に回転させると回転板上に落下する生ゴミを一次的に破砕である。

【0007】

【発明の実施の態様】この発明のディスポーザの一実施例を図1、2及び3に示す。ディスポーザは、上部に生ゴミ投入口2及び生ごみ破砕部2下部に吐出口4を有するケーシング5内に、固定刃6と、その固定刃の中で回転する回転板7上に回転可能に取りつけられたハンマブロック8とが配置され、前記回転板7はケーシング5内に設置した駆動装置の駆軸9によって回転に伴い回転板7上のハンマブロック8が自転して生ゴミの破砕を行う。この場合、回転板7上に、設け、この小駆軸10に小円板11を自転可能に取付け、この小円板11の一部をハンマブロック8と一体化してディスポーザ1の回転刃12を形成する。回転刃12の回転により破砕された生ゴミは、固定刃6との隙間からケーシング5の下部に設けられた吐出口4から排出される。なお回転板7の排水孔13が孔設され、ケーシング5の下部に排水孔4に送る。

30 【0008】図2及び3に示すように、小円板11が自由に自転できる程度の円孔14を回転板7の下部に固定した当て板15に、設け、この小円板11を回転自在に固定し、この小円板11と一体化したハンマブロック8とを回転自在に固定し、この小円板11を回転自在に固定し、この小円板11と一体化したハンマブロック8と

BEST AVAILABLE COPY

(3)

特開2003

3

4

ような作用効果を有する。

(1) 回転板とハンマー底面の間の隙間が無くなるので、従来のような生ゴミの挟まりがなくなる。

(2) ハンマー外周と回転刃との隙間に生ゴミが挟まっても上下方向であるので破砕室を分解しないでも、使用者が投入口から手で容易に除去できる。

(3) 回転板とハンマーとの隙間を小さく製作管理する必要がないので、生産性が向上する。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この発明のディスポーザの回転刃の一実施例を示す見取り図である。

【図2】 この発明のディスポーザの回転刃の構成部品を展開して示す。

【図3】 図1に示す回転刃の縦断面図である。

【図4】 従来のディスポーザの見取り図である。

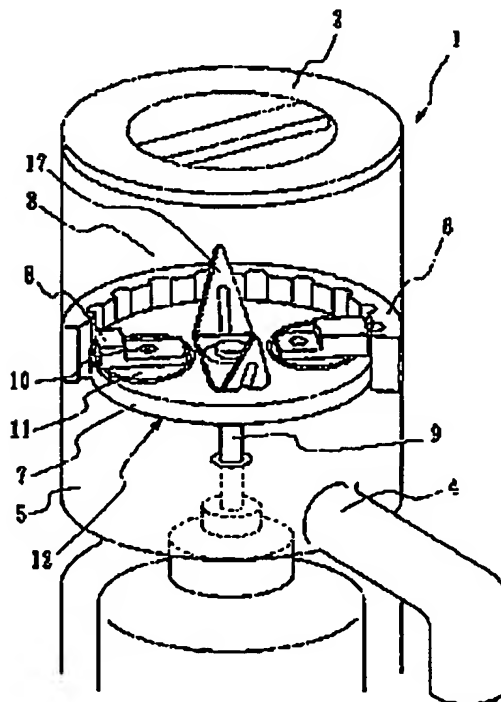
【符号の説明】

1 ディスポーザ

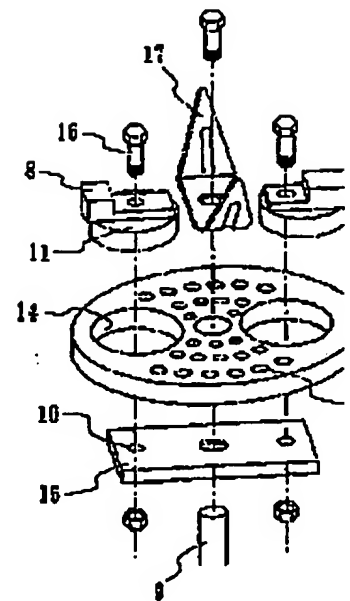
- \* 2 投入口
- 3 破砕部
- 4 吐出口
- 5 ケーシング
- 6 固定刃
- 7 回転板
- 8 ハンマーブロック
- 9 枢軸
- 10 小枢軸
- 11 小円板
- 12 回転刃
- 13 水抜き孔
- 14 円孔
- 15 当て板
- 16 ボルト
- 17 切削刃

\*

【図1】



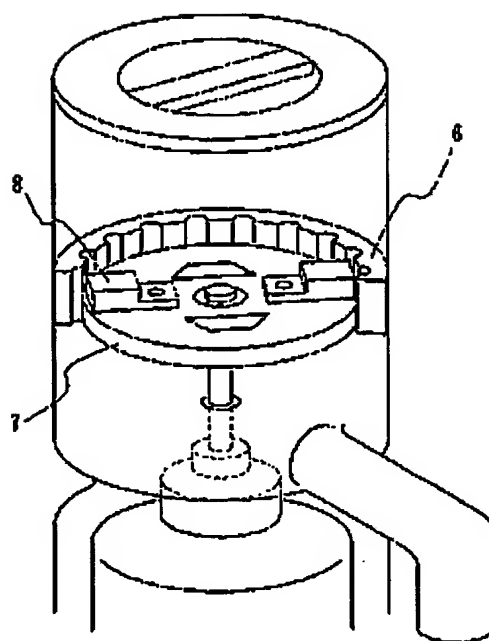
【図2】



(4)

特開2003

【図4】



---

フロントページの続き

Fターム(参考) 4D065 AA16 BB03 BB11 BB20 CA16  
CB19 CC04 DD04 DD18 DD24  
EB17 ED06 ED16 ED27

BEST AVAILABLE COPY